

市政、経済・金融記者クラブ同時配布

令和6年10月2日  
北九州市環境局

報道機関各位

## 国連の会議が北九州市で開催されます !!

～日本“初”開催の「低炭素都市国際フォーラム」～

国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）の国際会議「第4回低炭素都市国際フォーラム」が北九州市で開催されます。この国際会議は、日本初開催です。

北九州市での開催は、環境省の協力もあり、再エネ導入や水素、資源循環など脱炭素につながる先進的な取組や長年の環境国際協力・環境国際ビジネスの取組などが評価されたものです。

また、今回のフォーラムでは、市内のJICA九州などの協力を得て、東南アジアや南アジアの国々等からも参加します。

記

- |       |   |                        |
|-------|---|------------------------|
| 1 日程  | 令和6年10月8日（火）、9日（水）  | 別紙1のとおり                |
|       | ・ 8日（火） 9時～   | フォーラムセッション             |
|       |   | 17時30分～ レセプション(武内市長出席) |
|       | ・ 9日（水） 9時30分～  | 市内視察                   |
| 2 場所  | JICA九州（北九州市八幡東区平野2丁目2-1）ほか  |                        |
| 3 主催  | 国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）、韓国仁川広域市、北九州市   |                        |
| 4 共催  | 公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）、JICA九州  |                        |
| 5 後援  | 環境省   |                        |
| 6 参加者 | 約15カ国 100名(予定)<br>(国内外の政府・自治体関係者、企業、学術研究機関、等)<br>参加国：中国、韓国、カンボジア、スリランカ、ベトナム、等 |                        |

## 7 主な参加予定者

- ESCAP 事務次長 戸田 宏仁
  - ESCAP 北東アジア事務所長  
(元駐韓国モンゴル国大使) ガンボルド・バーサンジャブ
  - 環境省大臣官房審議官 堀上 勝
  - 韓国・仁川広域市環境局長 キム・チョルス
  - 東京大学未来ビジョン研究センター教授 高村ゆかり … 特別講演  
(中央環境審議会会長)
  - IGES北九州アーバンセンタープログラムディレクター 林 志浩
  - ICLEI 日本事務局長 内田 東吾
- \* 武内市長は10月8日(火) 夕方のレセプションのみ参加

## 8 低炭素都市国際フォーラムについて

持続可能で低炭素な都市の実現に向け、国内外の政府機関、自治体、国際機関、民間企業、学術研究機関等との知見の共有やパートナーシップの強化を図り、直面する課題の解決につなげていくことを目的として、令和3年(2021年)より ESCAP が毎年開催している。

過去3回は、ESCAP 北東アジア事務所のある韓国・仁川広域市で開催。

- 国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP) の概要 別紙2のとおり

## 9 フォーラムでの北九州市の PR

### (1) セッションでの市関係者の登壇

- 市環境局や市内企業が登壇し、取組を発表

### (2) 市内関連企業等の紹介パネル展示

- 会場内に市内の環境関連企業や関係機関、北九州市の取組を紹介

### (3) 北九州銘菓やエコ製品の提供

- 休憩時(コーヒープレイク)に北九州の茶菓子を提供
- 北九州市の水、エコバック等の提供

## 10 取材要領

別紙3のとおり

- 恐れ入りますが、会場スペースの都合上、10月7日(月)12時までの事前登録へのご理解・ご協力をお願いいたします。

### 【問合せ先】

環境局環境国際戦略課  
担当：坂田(係長)、村上(課長)  
連絡先：093-662-4020

## 第4回低炭素都市国際フォーラム プログラム（予定）

10月8日（火）フォーラムセッション	
09:00-10:30	<p><b>開会セッション(於：JICA九州1階 体育館)</b></p> <p><b>開会挨拶</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国・仁川広域市環境局長 キム・チョルス</li> <li>・ESCAP 事務次長 戸田 宏仁</li> </ul> <p><b>祝辞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境省大臣官房審議官 堀上 勝</li> <li>・JICA九州所長 後藤 光</li> </ul> <p><b>フォーラムの紹介</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ESCAP 北東アジア事務所長 ガンボルド・バーサンジャブ</li> </ul> <p><b>特別講演</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京大学未来ビジョン研究センター教授 高村 ゆかり</li> </ul> <p><b>記念撮影</b></p>
10:30-10:50	休憩
10:50-12:10	<p><b>セッション1 脱炭素における都市の役割の重要性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデレーター：ICLEI 日本 事務局長 内田 東吾</li> <li>・パネリスト：スリランカ政府、中国・成都市、他</li> </ul>
12:10-13:30	休憩
13:30-14:50	<p><b>セッション2 都市の強靱化のためのGX活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデレーター：IGES 北九州アーバンセンター 林 志浩</li> <li>・パネリスト：神奈川県横浜市、韓国・仁川研究所、他</li> </ul>
14:50-15:10	休憩
15:10-16:30	<p><b>セッション3 都市間連携とパートナーシップの有効性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデレーター：ESCAP 事務次長 戸田 宏仁</li> <li>・パネリスト：カンボジア・プノンペン都、香川県高松市、他</li> </ul>
16:30-17:00	閉会セッション
17:30-19:30	<p><b>レセプション(於：JICA九州3階 大会議室)</b></p> <p><b>歓迎・主催者など挨拶</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州市長 武内 和久 他</li> </ul> <p><b>乾杯</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JICA九州所長 後藤 光</li> </ul> <p><b>歓談</b></p> <p style="text-align: right;">} ※乾杯まで取材可</p>
10月9日（水）市内視察	
9:30-10:30	タカミヤ環境ミュージアム(北九州市八幡東区東田2-2-6)
10:45-12:00	いのちのたび博物館(北九州市八幡東区東田2-4-1)

## 国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）の概要

### 【ESCAP について】

1947年、国連経済社会理事会の5つの地域委員会の一つとして国連アジア極東経済委員会（ECAFE）が設立。

1974年、国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）に改称。令和6年4月現在、62か国・地域が加盟（域内加盟国49か国、域内準加盟メンバー9地域、域外加盟国4か国）。日本は1954年に加盟。

アジア太平洋地域の経済、社会開発のための協力機関であり、域内外の経済関係の強化を目的としている。

事務局長は、アルミダ・アリシャバナ氏（元インドネシア国家開発企画庁長官、元インドネシア科学アカデミー副会長）。

### 【北九州市と ESCAP とのつながり】

2000年に本市において ESCAP 主催の「第4回アジア・太平洋環境と開発に関する閣僚会議」を開催。タイ・バンコク以外の都市で初めて開催され、ESCAP 加盟国等42の国又は地域から157名、33の国際機関などから67名の計224名が本会議に出席。閣僚宣言やクリーンな環境のための北九州イニシアティブ等が採択された。

## 第4回低炭素都市国際フォーラム開催に係る取材要領

フォーラム開催にあたり、報道関係者の方々の円滑な取材活動のため、取材要領を作成いたしましたので、本要領をご一読のうえご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 1 事前申し込みについて

会場のスペースの都合上、取材を希望される報道機関は、10月7日(月)12時までに、右記電子申請フォームから当日取材に来られる方、全員分の情報をご入力ください。



### 2 当日の受付場所について

- ・10月8日(火)：JICA九州の正面玄関に入って左手側、フォーラム専用の受付窓口
- ・10月9日(水)：環境ミュージアム1階正面入口、いのちのたび博物館一般出入口
- ・事前申込の社名、氏名等を確認させていただき、名札をお渡しします。

### 3 取材機会について

#### <10月8日(火) フォーラムセッション>

- ・全体を取材・撮影可能です。  
ただし、スクリーンの投影は、一部撮影をご遠慮いただく場合がございます。当日、受付にてご説明いたします。
- ・レセプションの取材・撮影は、「乾杯の挨拶まで」とさせていただきます。
- ・取材時は、参加者の聴講や一般見学者の邪魔にならないよう、ご配慮ください。
- ・フォーラムは、国連の会議のため公用語である“英語”で進行します。  
受付で日本語との同時通訳レシーバーをお渡しいたします。  
レセプションにつきましても、英語での進行を予定しております(通訳なし)。
- ・報道関係者への通訳は用意しておりませんが、会場内に通訳補助者を1名準備し、可能な限り対応いたします。  
なお、9日(水)の視察につきましても、通訳補助者が対応します。
- ・個別インタビュー等の要望がある場合は、受付にてご相談ください。

#### <10月9日(水) 市内視察>

- ・取材制限等は、ございません。

### 4 撮影場所について

#### <10月8日(火) フォーラムセッション>

- ・会場内に報道関係者席をご用意いたします。  
撮影は、進行の妨げにならないよう、ご配慮願います。
- ・レセプションにつきましても、自由に撮影、取材していただいて構いません。

#### <10月9日(水) 市内視察>

- ・「いのちのたび博物館」では、一部の展示物に関する撮影時の注意事項を当日ご説明いたします。

### 5 注意事項

- ・取材時は、社名入りの腕章など、報道関係者であることが確認できるもの及び受付でお渡しする名札を着用ください。
- ・駐車場は準備していませんので、公共交通機関などをご利用下さい。